

手稲山の麓に広がる泥炭地を開拓して住宅地となってるこの辺りは、四季それぞれの姿を見せる自然豊かな手稲山を望む地域です。かつては原っぱにヒバリがさえずり、林にカッコウの声を聴いていましたが、今はもう自然らしいものを探したら堤防の中を流れる川しかなくなっていました。

そうは言っても手稲山の森と海をつなぐ川です。子供も大人も一緒に生き物を探したり、自然に戻せる活動をしたいと思い、とにかくできることから始めてみました。

よく見るといろんな生き物や新しい発見がいっぱいです。おとなも子供の頃の自分に戻って大はしゃぎです。

始めて2年目の、そんな楽しい活動をご紹介します。



2005年春の活動

4月3日(日) 手稲生きもの探し第4弾



10:00 ~ 13:00 軽川上流 稲雲高校上の森

<今日の探しもの>

- 1.まるい木の芽 2.鳥の羽(はね) 3.虫の卵 4.動物の足跡
- 5.木の甘い汁(じゅえき) 6.キツキのつついた穴
- 7.いい音の出るもの

あいにくの小雨の中、スノーシューを履いて まずは、森の中へ…

折れたシラカバの幹に何か棲んでいた穴を発見して、まず搜索…おや、これは何の足跡?? 虫の卵もいっぱいついてるぞ。

なんだこりゃあ! セミの死骸ぢゃない?? ほんとだーっセミだわー

何やら樹液の滴る木、発見!! カエデの木だねー

これぞまさしくメイプルシロップ。どれどれみんなで舐めてみますか…

いろんな探し物を見つけて、昨年秋の台風で倒れたカラマツで遊んだりして散策しながら、森の入口に戻りました。

さて、お楽しみ! 特製アイスクリーム作りです!

材料を混ぜてペットボトルに入れて、肥料袋に雪と塩と入れて丸くボールにします。

みんなで蹴ったり投げたりすること20分ほど…

美味しいアイスができました。すげー!

ごちそうさま。楽しかったねー! というところで激しい湿雪。



2005年夏の活動

<川の生きもの調べ>

案内人:大塚 武(スタッフ、北海道工業大学大学院)

手稲山から流れる川で、どんな場所にどんな生き物がいるか、川に入って調べてみます。

去年は、中の川や星置川で、網などで探したり、北海道工業大学の研究者に投網による調査を見せてもらいました。今年も3回の予定で、北海道工業大学などの協力で、魚やその他の生きものを調べます。

7月16日(土) 川の生きもの調べ(1)



10:00 ~ 12:00 中の川(共栄橋下)星置川(ほしみ橋下)

まだちょっと冷たい水に、初めは恐る恐るの子供達もすぐにおおはしゃぎ。水辺のヨシの茂みの下などにタモ網を入れていくと、次々歓声が上がります。

ウキゴリ、トミヨのほか、モズクガニもいました。

そしてエビの仲間です。これが曲者。もともといるスジエビに加えて、昨年も見つかった透明なヌマエビと黒っぽいミナミヌマエビは北海道には棲んでいないエビで、ペットショップで売っている種類。しかも卵をたくさん抱えていました。

捕まえた生きものを大塚さんとひと通り確認したあと、星置川へ。

街を殆ど通らず日本海へ直接注ぐこの清流では、中の川では見つからなかったドジョウや、大塚さんの「技」で捕らえたヤマメ(サクラマス)がいました。



このあと、炭火で持ち寄りの材料を焼いて、夏の川辺のお昼を愉oshimimashita。



8月7日(日) 川の生きもの調べ(2)

10:00 ~ 12:00 中の川(共栄橋下)星置川(ほしみ橋下)

暑い夏が戻ってきて川日和。3日前までの雨の影響か、川は少々増水気味。札幌市サケ科学館の岡本さんや稲雲高校生物部3年のY君らの参加もあり、さっそく川に入りました。

魚では、シマウキゴリ、トウヨシノボリ、エゾトミヨ、イバラトミヨ、それと星置川ではこの他にサクラマス(ヤマメ)がいました。

魚以外ではカワニナ、モクズガニ、スジエビに加えて他外来種のヌマエビ、ミナミヌマエビがいました。昨年・前回の調査と比較して、在来種のスジエビがかなり減り、外来種のヌマエビがとも増えているようで、懸念されます。

今回は札幌市環境対策課にご協力いただき、パケットテストで水質調査も行いました。調査は生き物調査をした中の川・星置川と移動途中の(淀んでいる)手稲土功川で水を採取して行いました。

	中の川	星置川	手稲土功川
COD (mg/L)	6~7	4~5	7
pH	7	6	8



ヌマエビ、ミナミヌマエビ、スジエビ



今回も終了後、炭火で持ち寄りの材料を焼いて、夏の川辺のお昼を愉oshimimashita。

2004年その他の活動

6月11日(土) はっぱっぱカーニバル2005 ~主催:フォレストークラブ

協力:手稲さと川探検隊、さっぽろ自然調査館、手仕事屋 未然ほか

12:30 ~ 16:30 西野川(中の川支流)源流さりん広場(西野西公園前)

自然が教える循環から遊びを通じて学ぶ、さらに人つながりで広げる可能性を考えるという趣旨で、様々な団体との協働で、各ブースを体験型で参加者がまわるといったもの。

さと川探検隊は、「川の生きもの探し」と、森とのつながりの発見の意味で芽が出た「苗木の植替え体験」を行いました。



6月12日(日) 「ホタル放流会」とハルニレのポット植替え ~ 西区ホタルの会

10:00 ~ 11:30 琴似発寒川左股川 福井清流会館下

毎年7月下旬にホタル観察会をしている発寒川左股川の河畔林で、ホタルの幼虫の放流会を行いました。昨年の放流会でタネを拾って播いたハルニレが発芽し育ってきたので、ビニルポットに植替えました。

新しくできる五天山公園の蛍水路に、河畔林を創っていくためです。



7月9日(土) 川をたどって海へ~水の旅人2005~ 主催:フォレストークラブ

森林が作り出す「生きた水」を河川という地表水をたどりながら「水の旅」を考える という目的で、西野川源流から中の川合流点、富丘川排水機場、新川へと下り河口まで行きました。普段あまり見ることもない身近な川を辿り、周囲の植生や護岸、水質の変化などを感じながら海までの旅に、皆満足でした。

案内人:品田さん(札幌市河川課)、沼田寛さん(札幌土現事業課)、丸山博子さん(丸山環境教育事務所)



樹木の苗の育成



~ 地域に自生している樹木から採ったタネを播いて育てています ~

街の中を流れる川にはもう河畔林もなく、そもそもこの辺りには林もなく、だからもともと棲んでいた生き物はいなくなっていました。

川の周りに兔や鳥たちが住める林があったら、それが手稲山からつながったら、札幌の周りをぐるりとつながったら、素晴らしいと思います。

中の川 横に整備される新発寒桜川でも植えていきたいと考えてます。

苗木づくりは誰もが参加できる活動。様々な人達と活動していきます。

<今、育てている樹種> オニグルミ、ミズナラ、ホオノキ、ケヤマハンノキ、イタヤカエデ、ハルニレなど

水辺の活動報告会「水辺の生きもの探してみよう！」

札幌市の活動発表会で、活動発表と活動内容の展示を行いました。

3月12日(土) 13:30 ~ 16:00 札幌市環境プラザ(エルプラザ2階)

さけ科学館 岡本氏「札幌の河川に住む生き物」

事例発表:カラカネイトンボを守る会、手稲さと川探検隊、平和小学校

さけ科学館岡本氏の身近な川の生き物の解説や、他団体の活動や課題などを聴くことができ、とても参考になりました。



ミニコミ誌道新ウォークに紹介記事

4月25日の道新ウォーク(札幌西地域版)で、手稲さと川探検隊の活動紹介記事が掲載されました。

2005年秋～2006年春の活動予定

- 9月 11日 川の生きもの調べ(3)
 10月 23日 森のタネ拾い、タネ播き、芋煮会
 11月 13日 秋の森遊び
 12月 10日 川の生きもの調べ まとめ(報告会)
 1月 森の雪遊び
 3月 春をさがそう・・・街の川、源流の森、春を探して歩いてみよう

手稲の川で見つけた主な生き物

これまでの川の生きもの調べで採集された主な生き物は、以下のとおりです。

ウグイ	コイ科
ハナカジカ	カジカ科
フクドジョウ	ドジョウ科
ドジョウ	ドジョウ科
シマウキゴリ	ハゼ科
トウヨシノボリ	ハゼ科
サクラマス(ヤマメ)	サケ科
エゾトミヨ	トゲウオ科
イバラトミヨ	トゲウオ科



サクラマス(ヤマメ)



目がかわいいトウヨシノボリ



トミヨ類



モクスガニ



清流に棲むヘビトンボ

モクスガニ	イワガニ科
スジエビ	テナガエビ科
ヌマエビ	ヌマエビ科
ミナミヌマエビ	ヌマエビ科
ヘビトンボ	ヘビトンボ科

次回予告

9月11日(日) 川の生きもの調べ(3)

10:00～12:00 中の川(共栄橋下)星置川(ほしみ橋下) 集合:共栄橋付近堤防下(新発寒5条8丁目)

服装:サンダル、スニーカーなど(直接川に入ります)

持ち物:川でころんだ時のための「着替え」、はき替え用の靴、防寒着、(昼食)

申し込み:9月8日(木)までにメールまたはFAXで鈴木まで 定員15名になり次第締切ります

以下の内容についてお知らせ下さい。(案内・申込チラシはホームページからダウンロードもできます)

参加者全員の 名前 学校 学年 住所 連絡先(電話、FAX、メールアドレスなど)

小学生以下の参加は、基本的に保護者同伴です。参加費はひとり300円(うち保険代200円)です。



手稲さと川探検隊

市民活動サポートセンター登録No.40741

代表 鈴木 玲 Suzuki Akira

E-mail aasuzuki@pop11.odn.ne.jp

Fax 011-684-4487

〒006-0807 札幌市手稲区新発寒7条6丁目8-19

手稲さと川探検隊URL <http://harunire.hp.infoseek.co.jp/nakanogawa.htm>